

2022年4月18日

## 鳩山町太陽光発電施設説明会等実施報告書

鳩山町長 宛

届出者 住所 東京都千代田区九段北1-4-7

喜助九段北ビル802

氏名 株式会社 JTS

代表取締役 津村 一

(法人にあつては主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

( 電話番号 03-3512-0033 )

鳩山町太陽光発電施設の設置に関する要綱第5条第3項の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

## 記

1 発電施設の名称	① JTS 鳩山第1ソーラーステーション ② JTS 鳩山第2ソーラーステーション ③ JTS 鳩山第3ソーラーステーション
2 設置場所	① 鳩山町 大字小用 字金谷 489 他 ② 鳩山町 大字小用 字金谷 511-1 他 ③ 鳩山町 大字小用 字金谷 543-1 他
3 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 説明会 <input type="checkbox"/> その他 ( )
4 実施日時	第1回:2022年3月19日(土) 9時45分～11時15分 第2回:2022年3月19日(土) 13時15分～14時45分 第3回:2022年3月19日(土) 15時15分～16時45分 第4回:2022年3月20日(日) 9時45分～11時15分 第5回:2022年3月20日(日) 13時15分～14時45分 第6回:2022年3月20日(日) 15時15分～16時45分
5 実施場所	小用公会堂(〒350-0323 埼玉県比企郡鳩山町小用399)
6 説明者	住所 東京都千代田区九段北1-4-7 喜助九段北ビル802 氏名 株式会社 JTS 代表取締役 津村 一生 電話 03-3512-0033
7 説明会参加者	説明対象者(小用地区住民他) 参加人数( 18 人)
8 協議相手方名	小用地区住民、他地区住民等
9 要望・意見等の内容及びその対応等	別添のとおり

## ■説明会概要

### ①日程

<令和4年3月19日 土曜日 の部>

第1回 9時45分～11時15分

第2回 13時15分～14時45分

第3回 15時15分～16時45分

<令和4年3月20日 日曜日 の部>

第4回 9時45分～11時15分

第5回 13時15分～14時45分

第6回 15時15分～16時45分

②場所 小用公会堂 (〒350-0323 埼玉県比企郡鳩山町小用399) にて

③参加者 株式会社JTS 代表取締役 津村、XXXXXXXXXX (+補助2~3名)

## ■会社概要

株式会社JTS 代表取締役 津村一生、設立は2018年11月7日、

所在地 東京都千代田区九段北一丁目4番7号、

社員数は取締役3名、監査役1名、従業員19名の会社です。

登録免許としては今回の太陽光発電所工事に関係する電気工事業、一般建設業、建設コンサルタントのほか、測量事務所登録もしており、多数の有資格者が在籍しています。

## ■会社概要

「地方創生」「水資源」「200年住宅」「持続可能型社会」等をテーマに取り上げ、太陽光発電を中心とする自然エネルギー活用型の発電事業企画、開発、管理、メンテナンスに加え、AIoTと活用した水道設備、重量鉄骨と木を利用した住宅事業を展開しています。また農業も今後の事業テーマとして掲げています。

埼玉県において、太陽光発電所は初めての計画となりますが、弊社代表の津村の前職の会社で実績はあり、そちらの発電所を加えると2つ目の発電所となります。

## ■太陽光発電所 事業概要

所在地は埼玉県比企郡鳩山町小用489他 合計21筆、7名の地権者がいらっしゃいます。

土地は売買で、山林は所有権移転登記し、田畑に関しては、仮登記は行っており、今後農地転用許可を得られ次第、所有権移転登記手続きを行います。

発電容量は2,076kW、売電出力は1,230kW、売電期間は20年間を予定しております。

ただし、最近の太陽光パネルは30年使用できるものが多く、20年後の売電期間終了後も可能であれば事業継続したいと考えております。

設置する発電設備は主に太陽光パネル、パワーコンディショナー、変電設備、トランス等を予定しております。管理事務所については現場には設置しない予定です。

スケジュールとしては、鳩山町条例の手続きの他、農地転用許可等、開発許可が得られ次第造成工事に着手し、本年秋ごろに造成完了予定です。造成完了後、もしくは発電前には地元の方へのお披露目会として見学会を実施したいと考えております。本年末頃には発電開始予定です。

土地の管理としては月2回と長雨時、台風前後には防災設備のパトロールを行います。

除草管理としては草の伸長具合に合わせて年1~2回の除草管理をします。

発電事業終了後は農地に戻せるように、除草剤などの薬は使わず、人手により草刈りします。

機器管理としては遠隔監視装置にてモニターやスマートフォンなどで常時監視し、年2回保守点検を実施しま



す。発電所で電気エラーが発生すると、アラートが発報されるので、確認次第、駆け付け対応を行います。本社の東京と、群馬監視センターにて常時監視します。

## ■関係法令

- ・国土利用計画法に基づく土地売買等届出 ※提出済み
- ・農地法に基づく農地転用許可
- ・森林法に基づく伐採及び伐採後の造林の届出手続き
- ・文化財保護法に基づく埋蔵文化財包蔵地土木工事等届出
- ・土壤汚染対策法に基づく土地の形質変更届出
- ・鳩山町太陽光発電施設設置に関する要綱

## ■工事概要

### ①設計基準

雨水流出量の算定方法について、降雨強度 57mm/hr で設計しています。

その他関係法令を順守し工事計画をしております。

### ②雨水排水対策

原則、発電所内に地形を生かしたオンサイト方式による事業地全体を浸透貯留池とした防災池を設置します。全体が水田のようなイメージになります。雨水排水については埼玉県の高水防の基準により、場内処理が原則のため、場外に流出しないように計画しています。

### ③土砂対策

浸透貯留池外周に堰堤を設けて工事期間中の土砂流出を抑えます。

※発電所の建設には、電気事業法に基づく発電用太陽電池設備に関する技術基準を定める省令等、関連法令やガイドラインを参照し設計しております。

## ■配置計画

第1発電所については南側の東原団地から約20mは距離を離して計画しております。

最近の太陽光パネルは低反射仕様になっておりますが、少しでもパネルによる反射を低減させられるよう、パネル設置角は10度設計としております。

第1と第3発電所間の道路については事業地内寄りにセットバックし、幅員4m程に拡張する予定です。

第3発電所敷地内には小屋やビニールハウスがありますが、現在撤去作業中です。

各発電所単位で外周にフェンスを設置します。高さは2m程度(忍び返し付)、色は茶色の予定です。

## ■発電所計画概要

第1と第2の交流発電容量(東電への最大売電出力)は同一ですが、パネルの直流発電容量に相違があるのは、第1発電所は、南側の東原団地を考慮し、反射を低減させるため設置角を10度設計としております。よって通常より発電量が低減するため、パネルの設置容量を敷地面積があることから増やしております。

第3に関しては、面積に対して直流発電容量が少ないので、不必要に伐採は行わず、できる限り山林を残す形で整備します。

## ■排水施設計画図

大雨台風時にも雨水排水がオーバーフローしないように、また土砂流出防止のため、外周は土堰堤を作ります。

地形の切盛りはできる限り行わない計画としています。既設水路がありますが、町の管理になるため、排水は全て地下浸透させます。

現地はボーリング調査を実施し、一番浸透しない箇所を係数を利用した雨水排水計画を立案しています。

## ■防災と管理体制

### ① 通常管理

月2回の巡回パトロールを実施 発電所内外の土地ならび設備を目視点検します。

遠隔監視（カメラなど）による24時間の監視をします。

### ② 梅雨など雨季の管理

雨季においては、長期予報を参考に事前に堰堤などの目視点検を実施します。

ゲリラ豪雨、地震などによる想定外とされる災害の後目視点検を実施します。

### ③ 台風など予期できる災害の管理

天気予報などで事前にわかる災害は、到達する前に発電所内外の土地ならび設備を目視点検します。

### ④ 火災や自然災害が発生した時の管理

管理者が現地に駆けつけて必要な処置をとります。

もし、地元で災害を発見した人は看板に記載の連絡先へお電話ください。即時に駆けつけます。

近隣で駆け付けできる人を雇用しているので、電気事業法上では2時間以内の駆け付けが基準となりますが、30分程度で駆け付けします。

### ⑤ その他

現地の看板にある問い合わせ先へご連絡ください。

## ■設備情報

### ① 太陽光パネル

太陽光パネルには単結晶シリコン、多結晶シリコン、化合物系の3種類がありますが、純度が高く、カドミウム等が含まれていない純粋なシリコン合金でできている単結晶シリコンを採用します。

パネルの出力保証が30年で、長期使用できるパネルとなっております。

### ② パネル架台、基礎

基礎に関してはコンクリートブロックの自重で強度を保つ置き基礎方式を採用します。

太陽光発電所の場合、スクリー杭を打ち込む場合が多いですが、本事業地は農地のため、将来的に農地に復旧しやすく、撤去もしやすい工法とします。

### ③ パワーコンディショナー

東芝三菱電機産業システムのTMEIC製パワーコンディショナーを使用予定です。従来の空調設備納入型ではなく、エアコン無しの自走型省エネパワーコンディショナーです。騒音や電波障害も低減されておりますが、民家から距離を離れた場所に設置します。

## ■工程

### ※工程表参照

地元説明会については新型コロナウイルスまん延防止措置下のため、回覧での対応を予定していましたが、今回公民館を貸していただけることになったため、人数制限のもと、2日間に渡り地元説明会開催としました。

これから鳩山町の条例、農地転用申請手続き等を進め、着工前には改めて地元の方へご報告を致したいと考えております。8月頃から着工し、年末には発電開始予定です。